

自治体経営改革室活動報告

「明日の自治体経営を語る会」第7回（2019大阪）

「自治体経営改革に関する実態調査」の結果報告と解説

開催日時：2019年9月27日（金）15:00～17:00

開催場所：ハービスENT 9階会議室 2・3号室

自治体参加者：9市 13名

当室参加者：秋山、沼田、山下、丸川（記）、菱田、渡辺（愛）／計6名

1. 開催目的

平成30年度の「自治体経営改革に関する実態調査」の結果を用いて、総合計画の指標の設定状況や行政評価の実施状況などの変化を、実務に携わる関連部門の職員の皆様と共有することを目的として「明日の自治体経営を語る会 2019大阪」を開催した。

2. 実施内容

①自治体経営改革に関する実態調査概要報告

沼田より、当室で実施した自治体経営改革に関する実態調査アンケートについて、回答の傾向を紹介し、近年の総合計画の策定状況や行政評価のトレンド等を解説した。

写真1 調査概要報告の様子



②話題提供1：総合計画と行政評価との連動（EBPMの導入を見越して）

話題提供1として、沼田より、「良い指標、良い評価とは？」というテーマで、明確な目標を立てることが指標以前に必要なことや、アウトカムかアウトプットかの前に、ロジックが必要であるということについて、説明を行った。また、EBPMについても、そのロジックが正しいとする理由を証拠に基づいて組み立てることだという解説を行った。

③話題提供2：総合計画と総合戦略の一本化

話題提供2として、山下より、先のアンケート調査報告結果や、実際の事例を示しながら、総合計画と総合戦略を一体的に策定する団体が増えていること、総合計画の中での総合戦略の位置づけとして、A.重点施策とする（掛川市・平塚市）、B.基本計画に溶け込ませる（総社市）、C.実施計画に総合戦略事業を位置づける（豊川市）といったバリエーションがあることを紹介した。

写真 2 話題提供2の様子



④話題提供3：参加者満足度を高める！総合計画における市民参画の手法について

話題提供3として、丸川より、市民参画手法の全体像を示したうえで、その必要性と成果を活かすコツについて、他自治体の事例を示しながら解説を行った。また、発想を自由に行うために開発したゲーム「メイキット」の紹介や、グラフィックレコーディング、SNSを通じた広報のコツなどについて紹介した。

写真 3 まちなか発想ゲーム「メイキット」(左)と、当社作成の計画冊子



④質疑・自由意見交換会

上記の話題提供を受けて各自治体から、質疑や自治体間の自由意見交換を実施した。「行政評価と予算を連動させたいが時期がずれる」「評価に手間がかかって、大変である」といった悩みが出され、自治体間での取組が共有された。これら議論の内容について、丸川と渡辺(愛)がグラフィックレコーディングの手法を用いて記録を行った。

写真 4 グラフィックレコーディングの様子



写真5 グラフィックレコーディングの結果



以上